

自動走行システム推進委員会（第3回）議事要旨

1. 日 時 平成26年8月6日（水）10:00～12:00

2. 場 所 内閣府本府庁舎3階第3特別会議室

3. 出席者：（敬称略）

（議長）渡邊 浩之	プログラムディレクター
有本 建男	政策研究大学院大学 教授
葛巻 清吾	CSTO（Chief Safety Technology Officer）補佐
朝倉 康夫	東京工業大学 大学院 理工学研究科 教授
天野 肇	ITS-Japan 専務理事
稲垣 敏之	筑波大学 大学院 システム情報工学研究科 研究科長
岩貞 るみこ	自動車ジャーナリスト
加藤 晋	産業技術総合研究所 知能システム研究部門 研究グループ長
川本 雅之	トヨタ自動車株式会社 技術統括部 主査
清水 和夫	自動車ジャーナリスト（代理：吉岡卓朗）
関口 守	富士重工業株式会社 技術本部電子商品設計部 主幹
栃岡 孝宏	マツダ株式会社 技術研究所 部門統括研究長
永井 正夫	日本自動車研究所 所長
福島 正夫	日産自動車株式会社 環境・安全技術渉外部 技術顧問
横山 利夫	株式会社本田技術研究所 四輪R&Dセンター 上席研究員（代理：鶴浦 清純）
市川 類	内閣官房 IT総合戦略室 参事官
山本 和毅	警察庁 長官官房 参事官
森下 信	総務省 総合通信基盤局 新世代移動通信システム推進室 室長（代理：上野喬大）
吉田 健一郎	経済産業省 製造産業局 電池・次世代技術ITS推進室 室長
山本 巧	国土交通省 道路局 道路交通管理課ITS推進室 室長
久保田 秀暢	国土交通省 自動車局 技術企画室 室長（代理：谷口正信）

オブザーバー

村山 隆 東京都 青少年・治安対策本部 治安対策担当部長

説明者

・システム実用化WG

鶴浦 清純 株式会社本田技術研究所 四輪R&Dセンター 主任研究員

白土 良太 日産自動車株式会社 モビリティ・サービス研究所 主任研究員

・国際連携WG

内村 孝彦 ITS Japan 理事 自動運転プロジェクトリーダー

・次世代都市交通WG

花井 利通 ITS Japan 企画グループ グループ長

・科学警察研究所

萩田 賢司 交通科学部 主任研究官

・特許庁

内山 隆史 総務部企画調査課知的財産活用企画調整官

事務局

田沼 知行 内閣府 科学技術・イノベーション担当 企画官

4. 議題

1. 推進委員会及び各WGの体制について
2. 研究開発テーマの進捗について
 - ① 関係府省の研究開発テーマ進捗状況
 - ② 本日議論するテーマ
 - ③ 欧米の関心事と SIP の整理
3. システム実用化 WG の進捗状況について
 - ① 地図情報の高度化
 - ② ドライバーと自動走行システムの役割
 - ③ マルチ GNSS 基礎評価実験
4. 次世代都市交通 WG の進捗状況について
 - ① 警察庁（警 5・PICS）について
 - ② 科学警察研究所レポート
 - ③ 有識者構成員（大日方氏）レポート
 - ④ 交通弱者・歩行支援システム タスクフォースの設置について
 - ⑤ 警察庁（警 4・PTPS）について
 - ⑥ ART について
 - ⑦ 次世代都市交通の全体整理（地域都市交通マネジメントの高度化）
5. 国際連携 WG の進捗状況について
 - ① TRB Automated Vehicle Symposium 2014 報告
 - ② 国内開催の国際会議企画
 - ③ ITS 世界会議デトロイトのセッション企画
6. SIP 自動走行システムの統一メッセージ（テーマ・スローガン）の進め方について
7. 特許庁報告（自動走行の国内外状況）
8. 新たな取り組みの方向性について
9. その他（全体議論、今後の予定等）

5. 配付資料

- | | |
|------------|---|
| 資料 3-1-1 | 自動走行システム推進委員会構成員案 |
| 資料 3-1-2 | システム実用化WG構成員案 |
| 資料 3-1-3 | 次世代都市交通WG構成員案 |
| 資料 3-1-4 | 国際連携WG構成員 |
| 資料 3-2-1 | S I P 「自動走行システム」 進捗状況まとめ【非公開資料】 |
| 資料 3-2-2 | 本日の議論内容 |
| 資料 3-2-3 | 各地域関心事と S I P の取り組みテーマ |
| 資料 3-3-1-① | 「地図情報の高度化」の技術開発について【非公開資料】 |
| 資料 3-3-1-② | フィージビリティスタディ実施内容の検討【非公開資料】 |
| 資料 3-3-2 | ドライバーと自動走行システムの役割とインターフェースに関する研究開発
【非公開資料】 |
| 資料 3-3-3 | マルチ GNSS 基礎評価実験について【非公開資料】 |
| 資料 3-4-1 | 歩行弱者等の移動支援システムの開発に向けた基本設計【非公開資料】 |
| 資料 3-4-2 | 科学警察研究所における研究【非公開資料】 |
| 資料 3-4-3 | （交通弱者・歩行支援システム）現状の課題と今後について【非公開資料】 |
| 資料 3-4-4 | 交通弱者・歩行支援システム タスクフォースについて（案）【非公開資料】 |
| 資料 3-4-5 | 次世代公共道路交通システムの開発に向けた基本設計【非公開資料】 |
| 資料 3-4-6 | A R T イメージと自動走行【非公開資料】 |
| 資料 3-4-7 | 自動走行テーマにおける次世代都市交通の位置づけ【非公開資料】 |

参考資料 1

資料 3-5-1	TRB 速報
資料 3-5-2-①	国内開催の国際会議 セッション企画
資料 3-5-2-②	Workshop on Connected and Automated Driving Systems
資料 3-5-3	ITS 世界会議デトロイトのセッション企画
資料 3-6	SIP 自動走行システムの統一メッセージ作成の提案
資料 3-7	平成 25 年度特許出願技術動向調査
資料 3-8	新たな取り組みの方向性について(問題提起)

【参考資料】

参考資料 1	自動走行システム推進委員会（第 2 回）議事要旨案
参考資料 2	AUTOMATED VEHICLES SYMPOSIUM 2014

6. 議事要旨

1. 推進委員会及び各WGの体制について

- 資料 3-1-1, 2, 3, 4 に基づき、構成員の変更について事務局より説明

2. 研究開発テーマの進捗について

- 資料 3-2-1, 2, 3 に基づき、研究開発テーマの進捗、本日の議論内容について PD より説明

3. システム実用化 WG の進捗状況について

4. 次世代都市交通 WG の進捗状況について

5. 国際連携 WG の進捗状況について

- 資料 3-5-1, 2, 3 に基づき、TRB 速報、国内開催の国際会議セッション企画、ITS 世界会議デトロイトのセッション企画資料について、国際連携WG・天野主査、内村構成員から説明があり、以下の質疑があった。
 - ◇ TRB でも SIP が何かを始めた、とくに、官民共同でやっているということの認識が高まったと感じている
 - ◇ TRB では各国の悩みが我々の悩みと共通であるということがわかった。カリフォルニアの規制に関する取り組みは参考になった

6. SIP 自動走行システムの統一メッセージ（テーマ・スローガン）の進め方について

- 資料 3-6 に基づき、SIP 自動走行システムの統一メッセージ作成について、国際連携WG・天野主査から提案があり、以下の質疑があった。
 - ◇ 11月の国際会議に向け、SIPの情報発信力が弱いと感じている。公開できるものをいかにわかりやすく伝えていくか、HPづくりもしっかり考えて頂きたい
 - ◇ プレスへの有効なアピール方法も考えたい

7. 特許庁報告（国内外動向）について

- 資料 3-7 に基づき、自動運転技術に関する国内外の特許動向について、特許庁より説明があった。

8. 新たな取り組みの方向性について

- 資料 3-8 に基づき、今後注力すべき取り組みについて、渡邊PDから提案があった。

9. その他

- 本日の総括として、以下の議論があった。
 - ◇ 資料 3-8 で示された取り組みに、二輪車への対応を入れてほしい

以上